

Shodex® ORpak CD-HQシリーズ

ORpak CDシリーズは、ポリマーゲルにリガンドしてシクロデキストリン誘導体を共有結合させたものです。耐アルカリ性を有するため、幅広い溶離液条件での使用が可能で、疎水性の部分構造を持つ光学異性体の分離に適しています。

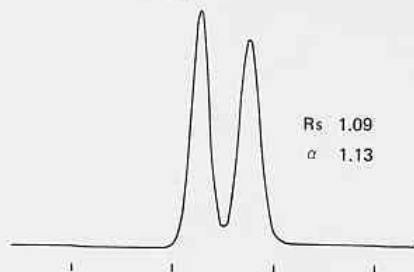
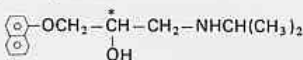
α 、 β 、 γ の3種類のシクロデキストリン誘導体がりガンドとして用意されていますので、分離対象物質の疎水性部分の大きさに適したカラムを選択できます。

CD-HQは、耐アルカリ性に優れています

CD-HQシリーズは酸性領域(pH3)からアルカリ性領域(pH10)まで、広いpH範囲でご利用いただけます。

β -ブロッカーであるプロプラノールをアルカリ性溶離液を用いて分離しました。

Sample: Propranolol



Column : Shodex ORpak CD-453 HQ x 2
Eluent : {5.1% TEA/CH₃OH(pH 8.2)} + 0.2M NaCl

ORpak CDB-453 HQによる分離例

光学異性体	溶離液	Rs	α
アミノ酸類			
メチオニン2-ナフチルアミド	I	3.29	2.11
アラニン2-ナフチルアミド	I	2.43	1.60
MTH-フェニルアラニン	G	3.30	2.00
カルボン酸類			
2-フェノキシプロピオン酸	H	1.18	1.10*
2-(4-ヒドロキシフェノキシ)プロピオン酸	H	1.12	1.10*
2-フェニル酪酸	H	1.22	1.11*
アミノアルコール類			
プロプラノール	D	1.09	1.13*
テルブタリン	D	1.19	1.14*
アミン類			
クロルフェニラミン	C	1.22	1.17
プロムフェニラミン	E	1.56	1.47
トルベリゾン	D	1.00	1.12*
環状キラル炭素類			
5-(p-トリル)-5-フェニルヒダントイン	G	1.09	1.17
エファロキサン	D	1.51	1.19*
クロルタリドン	F	1.66	1.33
インタバミド	F	1.12	1.23
ローダノゾリン	B	2.53	1.97
ノロダノゾリン(テトラヒドロペペロリン)	B	2.26	1.83
アルコール類			
ベンゾイン	I	1.39	1.23
ホマトロビン	D	1.49	1.20

溶離液

- B : 3.4% TEAA(pH 8.2)/H₂O
- C : 3.4% TEAA(pH 8.2) + 0.2M NaCl/H₂O
- D : 5.4% TEAA(pH 8.2) + 0.2M NaCl/H₂O
- E : 1.0% CH₃COOH + 0.2M NaCl/H₂O
- F : 1.0% CH₃COOH + 0.2M NaCl/10% CH₃CN + 90% H₂O
- G : 1.5% CH₃COOH + 0.1M NaCl/20% CH₃CN + 80% H₂O
- H : 2.0% CH₃COOH + 0.1M NaCl/20% CH₃CN + 80% H₂O
- I : 1.7% TEAA(pH4.0) + 0.1M NaCl/20% CH₃CN + 80% H₂O

* : カラム2本使用の場合

品名	リガンド	サイズ(mm) φ×L
ORpak CDA-453 HQ	α -シクロデキストリン誘導体	4.6 × 150
ORpak CDB-453 HQ	β -シクロデキストリン誘導体	4.6 × 150
ORpak CDC-453 HQ	γ -シクロデキストリン誘導体	4.6 × 150
ORpak CD-G	(ガードカラム)	4.6 × 10

製造元



昭和電工株式会社

SHODEN
KASEI

特殊化学品事業部

ショウテックス(分離・分析機器)グループ

販売元



昭光通商株式会社

ショウテックス部

〒105 東京都港区西新橋3丁目6番3号

- 本社(ショウテックス) TEL : 03-3459-5104 FAX : 03-3459-5081
- 大阪支店 TEL : 06-314-0775 FAX : 06-311-3289
- 名古屋支店 TEL : 052-582-9559 FAX : 052-581-4893
- 福岡支店 TEL : 092-711-9575 FAX : 092-781-5277
- 仙台支店 TEL : 022-261-5634 FAX : 022-224-0801